

1

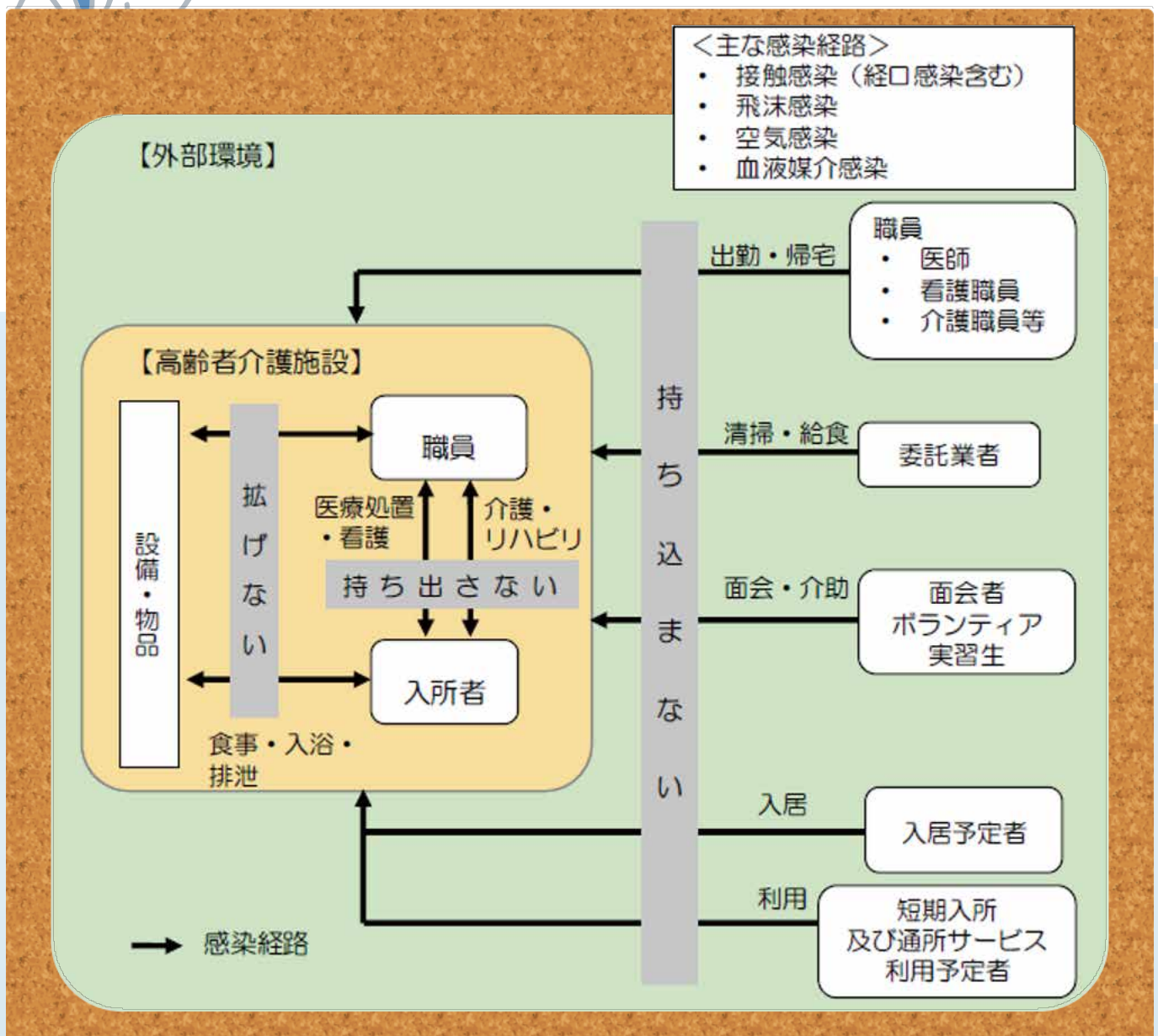
新型コロナウイルス対応の基本

ウイルスを「持ち込まない」「持ち出さない」「拡げない」ことが重要

障害者支援施設等においても同様です！

※下図は一般的な感染症への対策を表したものです。
感染症の種類によって、感染経路は異なりますので、ご注意願います。

図1 高齢者介護施設における感染対策



出典 厚生労働省ホームページ 高齢者介護施設における感染対策マニュアル改訂版(2019年3月)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/ninchi/index_00003.html

新型コロナウイルス対応の基本

福祉施設において流行を起こしやすい感染症は、施設内から新規に発生することは非常にまれであり、主に施設外で感染して施設内に持ち込まれています。

職員だけでなく、新規入所者等、面会者、ボランティア、実習生等も、感染症の病原体を施設の外部から持ち込まないように留意することが重要です。



主な感染経路



飛沫感染

感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染することを言います。

WHO（世界保健機関）は、一般に、5分間の会話で1回の咳と同じくらいの飛沫（約3,000個）が飛ぶと報告しています。

接触感染

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ることにより粘膜から感染することを言います。

WHOは、新型コロナウイルスは、プラスチックの表面では最大72時間、ボール紙では最大24時間生存するなどとしています。